

チームサムライ レースレポート

『2014 SUGO チャンピオンレース 第2戦』

2014. 4. 28

■日時	2014年4月27日(日)	■車両名	サムライサポーターズ
■場所	スポーツランドSUGO(宮城県)	■ゼッケン	25
■イベント	2014 SUGO チャンピオンカップレース 第2戦	■ドライバー	松井孝允
■チーム	TEAM SAMURAI	■リザルト	予選1位/決勝1位

【サムライサポーターズ F4】

比較的短いインターバルを終え、F4東日本第2戦は宮城県のスポーツランド菅生で行われました。このサーキットは高速コーナーを主体としたテクニカルなサーキットで、ドライバーにもマシンにも本質を求められるサーキットと言えます。チームとしてはごまかしの効かないこ菅生で前回の開幕戦でのビハインドを埋め、更に向上できるようにドライバーの松井と共に準備をしていきました。

金曜日・土曜日に行われた練習走行では、開幕戦で足りなかったマシンのリヤの限界を上げるセッティングアイテムを投入したところ狙い通りに向上し、アンダーステアになったところでフロントグリップを上げるアイテムを投入。狙い通りに高次元でのいいバランスに仕上がりと、金曜日は後半のほとんどをトップタイムで締めることができました。

予選・決勝が行われる日曜日は、朝8時45分から15分の予選。練習日同様、よく晴れた中で行われた予選は序盤からトップタイムを刻み、2位にコンマ6秒という大差をつけてポールポジションを獲得。ただバランスは狙った所より微妙にずれてしまい、コンマ2~3秒ほどはロスしていたと思われるので、この詰め甘い部分が反省点として残りました。とは言え、コースレコードで大差のポールなので、開幕戦からのステップアップはできたと思います。

お昼時の12時5分にスタートした15週の決勝は1コーナーを無難にトップで通過。みるみる後続を引き離し数周で4秒の-marginを築きましたが、5周目辺りから水温計が200℃を示しアラームが点灯。松井はエンジン回転を抑えるなどしてタイムも1秒ほど落しながら周回を重ねた為、2位のマシンに2秒差まで迫られる場面がありました。しかしエンジンの異常も感じられなかった為にラストでまたペースを戻しベストタイムを更新。結果、ファステストラップを記録し後続に4秒の差をつけて優勝。途中のペースダウンはありましたが、終わってみれば圧勝の雰囲気をもって第2戦を制することができました。





【チーム代表 土屋武士コメント】

サムライサポーターズ・F4 プロジェクトにご協賛・応援をくださった皆さま、2014 年東日本 F4 シリーズの第 2 戦で優勝することができました！これも皆さまのご支援・ご声援があったからこそと感謝しています。本当にありがとうございました！！

前回洗い出された部分の対策が良かったことが勝因ですが、それには正確なコメントが必須で松井がその部分でしっかりとした仕事ができたとと言えます。昨年のデビュー戦からマシンには特別なパーツなどをつけたわけではなく、セットアップの範囲だけでこれだけのレ

ベルアップができたということですので、それを経験・体感できたことが松井にとっての財産になると思います。また自分自身もエンジニア・メカニックとしてのスキルを積むこともでき、自分たちの目指す「最強プライベート」へ一歩ずつ近づいているという実感もあります。またインターバルなくすぐに茂木での第 3 戦・4 戦が行われますので、短い時間でまた更に準備を進めていきたいと思っておりますので、また応援のほど、よろしくお願いします！！

【チーム ドライバー 松井 孝允コメント】

今回の優勝という結果はサポーターの皆さまの応援のおかげで掴むことが出来ました。

本当にありがとうございました。

内容は代表の武士さんのセットアップでマシンがセッションごとにどんどん良くなり予選で 2 位に 0.6 秒という差が出来たと思います。

決勝のマシンのフィーリングも週末で一番セットアップが決まっていたのですごく気持ち良く走ることが出来ました。

今回の良かった点悪かった点も踏まえて次回のもてぎに向けてしっかりと準備していきサポーターの皆さまの前で優勝できるようにしていきます。

これからも応援よろしくお願いします。

team
SAMURAI

チームサムライ代表 土屋武士

株式会社サムライ
〒252-0822 神奈川県藤沢市葛原 2507
TEL : 0466-49-5010
FAX : 0466-49-5011

HOPPY

VivaC
RACING TEAM



TAKATA



まへだ
眼 eye 科